

立教大学教会音楽研究所

2015年度 特別オルガン講座

「アングリカン・チャントの奏法」

2015年7月10日(金) 19:00~20:30

立教学院諸聖徒礼拝堂 (立教大学・池袋キャンパス)

講師 ジュリアン・コリングス

(クラレンス・ゲート聖シプリアン教会音楽監督、オルガニスト)

通訳 スコット・ショウ

(立教学院教会音楽ディレクター、当研究所所長)

英国国教会の伝統的なアングリカン・チャントの伴奏法について、
ジュリアン・コリングス氏をお招きし、
特別オルガン講座を開催いたします。
立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊によるデモンストレーションを通し、
アングリカン・チャントを伴奏する際のオルガンの音の選び方、
聖歌隊とのタイミングの合わせ方について、
指導していただく様子を公開する、この貴重な機会に、
聖公会の教会音楽奉仕者のみならず、ふるってご参加ください。

定員 200名

お問い合わせ

参加費 無料

立教大学教会音楽研究所

E-mail: music@rikkyo.ac.jp

〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1

Tel & Fax: 03-3985-2786

お申込 不要

<http://www.rikkyo.ac.jp/research/laboratory/ICM/>

不在のことが多いので、メールでのお問い合わせが便利です

※当日、17:30 から同チャペルで「夕の祈り」が行われます。
お時間の許す方は、どうぞお気軽にご参加ください。

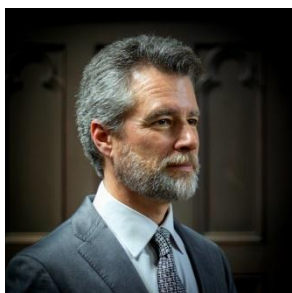
<講師プロフィール>

Julian Collings (ジュリアン・コリングス)



英国ケント州にあるトンブリッジ・スクールでオルガンを学び、王立オルガニスト協会の associateship diploma を取得した。1999 年、ケンブリッジ大学クライスト・カレッジにオルガニストとして入学し、2002 年に卒業した。これまでに、トーマス・トロッター、サラ・バルドック、デイビッド・サンガーの各氏に師事。ケンブリッジ大学在学中にはクライスト・カレッジ・チャペルクワイアのオルガニスト、及び指揮者として海外演奏旅行に同行し、スカンジナビアやカナダ、アメリカを訪問した。現在は、英国ロンドンにあるクラレンス・ゲート聖シプリアン教会の教会音楽監督を務めている他、「バーンズ・クワイア」、「サウス・ロンドン・シンガーズ」、「ロンドン・チェンバー・クワイア」の指揮者として活躍している。2012 年にはプロの現代音楽家を集め、現代音楽を演奏する合唱団を設立した。オルガニストとしては、国内外で活発にリサイタルを行なっている。

Scott Shaw (スコット・ショウ)



シアトルのワシントン大学においてオルガンとハープシコードを、ニューヨーク州ロチェスター大学イーストマン音楽院にてオルガン、合唱指揮法、音楽史を学び、1987 年修士号、1991 年演奏博士号を取得。現在、アメリカ各地および日本国内において演奏活動を行う傍ら、立教学院教会音楽ディレクター、立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊長、立教大学文学部キリスト教学科教授を務めている。立教大学教会音楽研究所所長。

立教大学 池袋キャンパス 〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1

